

平成30年度 第2回公立大学法人公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 平成30年11月7日(水) 10:30～12:00
- 場 所 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 江崎信芳委員、宇佐美誠委員、片木威委員、田中仁成委員、中島廣光委員、山本仁志委員、今井正和委員、遠藤由美子委員、小林朋道委員、矢野順治委員、横山伸也委員、吉永郁生委員、齊藤明紀委員、張漢賢委員 [14名/15名]
- 欠席者 尾室高志委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 協議事項

(1) 持続可能な開発目標SDGsへの取組について

事務局から持続可能な開発目標SDGsへの取組についての方針等の説明があり、意見等を検討しながら今後進めていくことになった。

<主な意見等>

- ・大学の理念に近くいいことだと思う。
- ・演習科目はゼミのことだと思うのだが、演習科目が17の目標に合致が少ない。SDGsは非常に広範囲なので様々なゼミが直接的、間接的に関わるのではないか。取り組みをすることも重要だが、これまでに行われたことの見える化も重要だと思う。

→ ここで書いている演習科目は、野外実習、フィールド演習を指している。目的がかなり絞られる。

(2) 2021年度入試に向けて

事務局から2021年度入試に向けての方針等の説明があり、意見等を検討しながら今後進めていくことになった。

<主な意見等>

※非公開

3 報告事項

(1) 公立大学法人公立鳥取環境大学平成29年度業務実績評価書について

事務局長から、公立大学法人公立鳥取環境大学平成29年度業務実績評価書について報告があった。

(2) 公立大学法人公立鳥取環境大学第1期中期目標期間に係る業務実績評価書について

事務局長から、公立大学法人公立鳥取環境大学第1期中期目標期間に係る業務実績評価書について報告があった。

(3) 平成30年度補正予算(第2回)について

事務局長から、平成30年度補正予算(第2回)について報告があった。

(4) 平成31年度予算編成方針について

事務局長から、平成31年度予算編成方針について報告があった。

<主な意見等>

- ・はじめにのところで低所得世帯の高等教育の無償化に触れているが、大学の要件が予算方針に書いてないが、考えておられるか。
 - はっきりしていないところもあるので、詳細に書いていないが、体制作りは必要だと思っている。
- ・学生生活支援のなかで、学生支援及び学生相談の機能充実とあるが、データ化が重要だと思う。相談がどれくらいあって、個別の情報など、現場職員が共有されればと思う。
 - 相談件数はまとめているが、相談内容をどう検討するかなどはまだ不十分のところがあるので整えたい。
- ・はじめにのところで取り組むべき事項としてある「リベラルアーツ」が、翌ページの重点的に取り組む事項から抜けているのは、違和感がある。
 - 抜けているのは不備である。整える。

(5) 平成30年度中に調達する平成31年度予算に係る複数年契約案件

事務局長から、平成30年度中に調達する平成31年度予算に係る複数年契約案件について報告があった。

(6) 「授業料等及びその他料金に関する規程」の改正及び「入学料免除に関する規程」の制定について

事務局から、「授業料等及びその他料金に関する規程」の改正及び「入学料免除に関する規程」の制定について報告があった。

(7) 公立大学法人公立鳥取環境大学平成30年7月豪雨に関する検定料免除規程の制定について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学平成30年7月豪雨に関する検定料免除規程の制定について報告があった。

(8) 公立大学法人公立鳥取環境大学北海道胆振東部地震に関する検定料免除規程の制定について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学北海道胆振東部地震に関する検定料免除規程の制定について報告があった。

(9) 専任教員の昇任について

学長から、専任教員の昇任について報告があった。

(10) 近況報告

事務局から、入試、就職活動など大学の近況について報告があった。

4 閉 会